

| 目 標 | 主たる取り組み | 評 価 と 課 題 |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 力のある教師を育てます | <ul style="list-style-type: none"> ・指導教授制の実施 ・授業力向上支援事業の実施 (認定講師制度、各種研修会等) | <p>高度の専門性と高い使命感を備えた区独自の教師を養成する「杉並師範館」は平成22年度末をもって終了したが、これまでに教育の充実・発展に寄与するとともに、学校管理職から高い評価を得てきた。また、教員の資質向上を図るための取り組みとして実施している「指導教授制」は、若手教員の指導力・対応力の向上に、授業力に優れている「認定講師」による「授業力向上塾生」への指導・助言は、授業力・課題解決力の向上に効果をあげている。</p> <p>今後とも、個々の教員の指導力・対応力をより向上させるために研修が果たす役割が重要になることから、職層に応じた研修、専門性を高める研修等の充実を図るとともに、校内におけるOJT等を組織的に推進していくための校内組織の在り方が課題となっている。</p> |
| 2 質の高い教育を行います | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進 ・30人程度学級の実施 ・特別支援教育の充実 ・魅力ある中学校づくり ・学校図書館の充実 | <p>小中一貫教育基本方針を受けて、各学校の具体的な取り組みの開始や30人程度学級の実施により、きめ細やかな教育の推進を図った。特別支援教育においても、推進計画を策定し充実を図っているが、増加している発達障害児を含めての就学前から高校卒業までの継続した支援体制の構築や、保健福祉・医療分野等との連携を、より推進していく必要がある。また、学校司書の配置、教育研修等により学校図書館の活性化が図られたとともに、児童生徒の読書冊数の増加につながった。</p> <p>今後は、小中一貫教育、特別支援教育、学校図書館の更なる充実を目指すとともに、区内全中学校で夏季休業中の補習「パワーアップスクール」を実施するなど、中学生の学びの機会の拡充が必要である。</p> |
| 3 学校の経営力を高めます | <ul style="list-style-type: none"> ・経営支援体制の充実 ・副校長二人制の実施 | <p>学校による自己評価の実施とともに、保護者や地域住民等が構成員の学校関係者評価委員会を全校が設置し、学校評価の充実を図った。また、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、平成23年度の学校経営計画の改善を図った。さらに、二人目の副校長を配置し、学校支援本部等の活動の推進、小中一貫教育に関する連絡調整等を行うことにより、教育の充実を実現した。</p> <p>今後は、スクールソーシャルワーカーの配置拡充や、各学校の学校サポートチームを支援するための教育SATと関係部署との連携強化を図る必要がある。また、二人目の副校長の任用によって従来の副校長の業務の負担を軽減する効果的な役割分担のあり方、校内体制のあり方、校務改善の方向性等について研究し、基本モデルを作成することが課題である。</p> |
| 4 地域と協働する学校をつくります | <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援本部の充実 ・地域運営学校(コミュニティ・スクール)の拡充 | <p>学校支援本部及び地域運営学校(コミュニティ・スクール)を計画的に拡充してきた。これに伴い、保護者や地域住民の学校運営への参画も進み、地域の力を活用した学校づくりは着実に推進した。</p> <p>今後は、地域運営学校の周知・理解を進め、更なる拡充に努めるとともに、全校設置となった学校支援本部の自律した運営を目指しながら、両者の連携を図っていく必要がある。また、持続的な仕組みとするため、区民の学習成果を子どもたちの教育支援につなげるなど生涯学習施策と連動させながら、これら活動を支える地域人材の発掘及び育成を推進していく必要がある。</p> |
| 5 学校の教育環境を整えます | <ul style="list-style-type: none"> ・エコスクールの推進 ・学校規模の適正化・適正配置 | <p>計画的な耐震改築、エコスクール改修や教職員1人1台パソコンの配備などを進め、施設環境、学習環境ともに着実に向上させた。また、著しく小規模化した学校の適正配置を進めることにより、教育環境の充実も図られた。</p> <p>今後は、より地域の防災拠点としての役割を担い、地域活用が図れるような施設づくりに取り組んでいくとともに、小中学校の普通教室へのエアコン設置を踏まえ、今後の費用対効果を考慮したエコスクールの考え方を検討・整理していく必要がある。</p> <p>学校規模の適正化・適正配置は、今後も、新しい学校づくり、まちづくりの視点で、対象地域の関係者との意見交換・集約を行い、計画を策定していく必要がある。</p> |
| 6 共に育つ豊かな地域づくりを進めます | <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設・体制の整備 ・読書活動の推進 | <p>社会教育に関わる関係施設において、区民等との協働と施設間連携を推進し、区民の教育活動や自主活動の支援の充実を図った。</p> <p>今後は、地域における区民の学習支援や子どもの学習への対応が充実しているものの、地域の課題解決や生涯にわたる自立を支える地域づくりの活性化につながっていないことから、学校、保健所など関係機関との切れ目のない連携をより強化し、取り組みの重点化・焦点化を図る必要がある。また、指定管理者や区民団体等との協働による事業連携やネットワークの構築をすすめ、それぞれの地域に適した人づくり、仲間づくり、地域づくりがすすめられるようにしていく必要がある。</p> |